第 25 区

定数 15 名 候補者 15 名

候補者氏名 (受付順)

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

- 1. 家入 里志 2. 1968/8/3
- 3. 鹿児島大学小児外科
- 4. 1994年 九州大学医学部卒

2014年 九州大学 小児外科 准教授

2015年 鹿児島大学 小児外科 教授

2020年 鹿児島大学病院 副病院長

2025年 一般社団法人日本小児外科学会 理事長

- 5. 地方の小児医療・外科医療を支える小児外科医の育成に尽力 してまいりました。2025年からは日本小児外科学会の理事長とし て全国の小児外科医療の均てん化と拡充に取り組んでいます。
- 6. 現職
- 1. 曽我 欣治 2. 1965/10/16
- 3. 鹿児島大学 心臓血管外科
- 4. 1991 年 京都大学

1993年 小倉記念病院

2000年 京都大学大学院

2003年 小倉記念病院

2009年 近畿大学医学部奈良病院

2012年 市立長浜病院

2019年 小倉記念病院

2021 年 鹿児島大学

- 5. 地域医療を担う外科医のリクルートとサージャン・サイエンティスト・信頼される臨床医への育成のサポートを通して、微力ながら本邦の外科学の発展に貢献したいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 6. 現職
- 1. 中条 哲浩 2. 1965/3/27
- 3. 鹿児島大学 医歯学総合研究科 外科学講座 乳腺甲状腺外科
- 4. 1992 年 鹿児島大学医学部卒業. 同第一外科入局.

2023年 鹿児島大学乳腺甲状腺外科学 教授.

日本外科学会指導医

日本内分泌外科学会理事・指導医

日本内視鏡外科学会技術認定取得者

- 5. 魅力的な外科医育成プログラムを追求し、地域医療に貢献しながらグローバルに活躍できる外科医の育成を目指します.
- 一方, 外科医のライフワークバランスに配慮しながら, 女性医師 支援にも積極的に取り組む所存です.
- 6. 現職

- 1. 大塚 隆生 2. 1969/12/11
- 3. 鹿児島大学消化器外科
- 4. 1994 年 九州大学医学部卒業, 九州大学第一外科

2001年 米国ハーバード大学がん生物学プログラム

2003 年 佐賀大学 一般・消化器外科

2009 年 九州大学第一外科

2020年 鹿児島大学消化器外科

- 5. 消化器外科(胆膵外科)が専門です. 若手に魅力ある地方大学 外科教室作りを通して地域の外科医療を支えるとともに、基礎研 究を通した教育にも注力し、世界で通用する外科医育成を目指し ていきたいと思います.
 - 6. 現職
 - 1. 上田 和弘 2. 1968/12/27
 - 3. 鹿児島大学
 - 4. 1994年 山口大学医学部卒業

1994年 山口大学第一外科入局

1999年 山口大学医学博士取得

2019年 鹿児島大学呼吸器外科准教授

2023年 鹿児島大学呼吸器外科教授

- 5. 勤務環境の制約下でも効率化と協働を推進し、若手医師が挑戦し続けられる外科を創ります.
- 6. 現職
- 1. 七島 篤志 2. 1963/6/30
- 3. 宫崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野
- 4. 1988年に外科学会に入会. 長崎大学第一外科所属. 外科学会専門医, 指導医. 2015年4月より宮崎大学外科学講座に赴任. 2018年より2025年まで第25区の外科学会代議員を努める.
- 5. 日本外科学会の第25区の代議員として、日本の外科学及び、 外科学会の発展に寄与できるように職責を果たせるように尽力す る所存です。そのために今回の令和7年度代議員選挙の立候補を 行った所存です。
- 6. 現職

- 1. 古川 貢之 2. 1970/9/11
- 3. 宮崎大学附属病院
- 4. H7山口大学医学部卒業, R3宮崎大学医学部外科学講座心臓血管外科学教授, ハートセンター長. 日本外科学会代議員, 日本胸部外科学会評議員, 日本循環器学会地方会評議員.
- 5. タスクシフト・タスクシェアを積極的に図り、働きやすい環境を整えます. 外科の醍醐味を伝え、次世代を担う多くの若者に外科を選択してもらえるように務め、医療と日本外科学会の発展に助力します.
- 6. 現職
- 1. 金城 達也 2. 1973/8/25
- 3. 琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座
- 4. 1999 年 3 月, 琉球大学卒. 琉球大学第一外科入局. 2000 年~2011 年, 県内外施設勤務. 2007 年, 医学博士 (琉球大学). 2006 年, UTHSCSA 勤務. 2023 年 4 月, 消化器·腫瘍外科, 准教授.
- 5. 臨床・教育・研究を三位一体で推進し、特に次世代外科医の育成に尽力いたします。 地域医療の充実と学術の発展を両立させ、 国際的視野を持った活動を通じて日本外科学会のさらなる発展に 貢献いたします。
- 6. 新任
- 1. 古川浩二郎 2. 1963/5/4
- 3. 琉球大学大学院胸部心臓血管外科学講座
- 4. 昭和63年6月佐賀医科大学医学部外科医師

平成 15 年 7 月ベイラー医科大学研究員(文部科学省在外研究員) 平成 29 年 8 月九州医療センター心臓血管外科部長 令和 2 年 9 月琉球大学胸部心臓血管外科学講座教授

5. 心臓血管外科及び呼吸器外科分野を通して, 微力ながら外科学会の発展に貢献したいと考えています.

6. 現職

- 1. 高槻 光寿 2. 1968/4/11
- 3. 琉球大学大学院 消化器·腫瘍外科
- 4. 1994.6 長崎大学移植・消化器外科研修医 1997.4 京都大学移植外科(留学) 2005.4 長崎大学移植・消化器外科助教 2009.10 同講師

2016.4 同准教授

2019.7 琉球大学消化器·腫瘍外科教授

- 5. 日本外科学会指導医,日本消化器外科学会指導医,日本肝胆膵 外科学会高度技能指導医の資格を有し、消化器外科,特に肝胆膵 外科を専門としています. 肝移植関連の研究で学位を取得,研究 や教育にも尽力しております.
- 6. 現職
- 1. 小副川 敦 2. 1976/3/18
- 3. 大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科学講座
- 4. H12 九州大学卒業, 第2外科入局, H17 医学博士, H23 米国 NIH, ジョンズ・ホプキンス大留学, H25 大分大学助教, H30 九 州大学助教, R2大分大学呼吸器・乳腺外科学講座准教授, R6. 6 月より 同教授
- 5. 肺癌, 乳癌など胸部悪性腫瘍の分子生物学的研究や, ロボット 手術, 集学的治療, 遠隔医療を始めとした先進的な外科治療の開 発, 外科医の育成に力を注ぎ, 地域医療に貢献しつつ外科学の発 展に寄与してまいります.
- 6. 新任
- 1. 武野 慎祐 2. 1966/7/15
- 3. 宫崎大学医学部外科学講座

消化管・内分泌・小児外科

光学医療診療部・消化器病センター

4. 1991.3 大分医科大学医学部医学科卒業

2005.10 大分大学医学部第2外科 講師

2012.4 福岡大学病院消化器外科 講師 2016.4 宮崎大学医学部外科学講座 講師

2019.4 同 病院教授

- 5. 外科医過疎が顕著な宮崎県における, ロボット手術等の低侵襲 手術の普及, 緊急消化器外科手術の対応体制の確立に尽力したい と思います. 消化器外科の志望者増加および QOL 向上のために 精一杯努めたいと思います.
- 6. 現職

- 1. 上田 貴威 2. 1972/10/28
- 3. 大分大学医学部附属病院/大分大学医学部総合外科·地域連携 学講座
- 4. 1997 年佐賀医科大学卒業 1997 年大分大学医学部第 1 外科入局 2011 年大分大学医学部地域医療学センター助教

2020 年大分大学医学部総合外科・地域連携学講座准教授 2023 年同上教授

- 5. 外科医の減少, 地域偏在, 労働環境や外科教育等, 特に地域における様々な問題を皆で共有・議論し, 現在の外科医の満足度の向上と共に, 学生が安心して外科医を志望できる環境作りに尽力していきたいと考えています.
- 6. 新任

2016年同上講師

- 1. 三森 功士 2. 1966/9/27
- 3. 九州大学病院別府病院
- 4. H3 年 九州大学第二外科入局(研修医). H6 年 九大生医研(医員). H9 年 Kimmel 癌研究所(研究員). H12 年 九大生医研(助教). H24 年 九州大学病院別府病院(教授). R5 年 病院 長
- 5. 大分県の大学病院のひとつとして外科診療に取り組み地域医療の発展に尽くします。また日本癌学会理事および日本消化器外科学会理事を拝命しており癌の臨床と研究の発展にむけて粉骨砕身取り組んで参ります。
- 6. 現職

- 1. 猪股 雅史 2. 1962/1/25
- 3. 大分大学医学部消化器・小児外科学講座
- 4. 1988 年大分医科大学第一外科入局, 2003 年大分大学消化器外科講師, 2010 年同准教授, 2011 年米国コーネル大学, 2014 年大分大学消化器・小児外科学 教授. 2016 年代議員, 2022 年理事就任
- 5. 幅広い視野を持つ外科医の育成を通じ、地域の外科医療の活性 化と安全な低侵襲手術及び AI 活用外科医療を推進し、さらに外 科医の労働環境改善や、ダイバーシティー推進に取り組み、本学 会の発展に尽力したい。
- 6. 現職